

全学教養科目「名大の歴史をたどる」

## 第5回「名古屋高等商業学校」

### 【今回のテーマ】

- ◆どのような特色を持っていたのか。
- ◆どのような経緯をたどり、名古屋大学経済学部となったのか。
- ◆名古屋市を中心とする地元の歴史との関係。

### 1 名古屋高等商業学校（名高商）の創設（1920）

#### ①近代の商業教育と高等商業学校

◎商業教育体系の確立（1899 実業学校令、1903 専門学校令）  
←「産業革命」←「企業勃興」←「殖産興業」

◎高等商業学校の希少性→地域間の誘致合戦の激化

#### ②高等商業学校の誘致と地元からの寄付

◎松井茂知事の高等教育機関整備構想（名古屋に高等商業学校、三河に高等農林学校）

◎行政・代議士による中央政府への陳情（←財界・ジャーナリズムの支持）  
→名古屋市に内定（地元による創設費負担が条件）

◎1918年臨時県会において64万円の寄付決定（うち20万円は名古屋市が負担）

#### ③名古屋市の膨張と名高商

◎名古屋の産業発展と人口増加（＝中京工業地帯・第三の都市名古屋の成立）←WW I  
→中京工業地帯における企業経営を担う人材の養成

◎名高商の地理的位置（＝1921.8 愛知郡呼続町から名古屋市南区へ）  
→名古屋市の膨張を象徴する地

### 2 名高商の教育と研究

#### ①学科構成（本科3年・商工経営科1年）とカリキュラム

◎教養教育、外国語教育の重視

◎特色ある商業専門科目（商工心理学、商業実践、商業実験、ケースメソッド）

②「二大信条」と人格主義教育（←渡辺龍聖校長）

◎「学生は学生らしくあること」「学生は学生の本分を忘るるな」

◎教養ある紳士としての商業人（←経済による国際競争）

③教員と研究

◎各分野の気鋭を集めた多様な教師陣

◎多くの外国人教師（ペンローズ、アレンなど）

◎大学並みの高い研究水準

・産業調査室（→大学院経済学研究科附属国際経済動態研究センター）と赤松要  
（→ケースメソッド、名高商生産指数）

・『商業経済論叢』、『商業美術論集』、産業物理学教室、応用生物学会など

→総合大学のような雰囲気

④大学昇格運動（←「名古屋商業大学期成同盟会」1924←大学令1918）

→渡辺校長の消極的態度により進展せず（←大学・専門学校同格論）

3 渡辺龍聖初代校長（1862?—1945、在任1921.11～1935.5）

①校長就任まで

…東京専門学校→帝国大学文科大学→アメリカ留学（1889～1904、哲学博士）→東京高等師範  
学校教授（倫理教育学）・東京音楽学校校長→袁世凱学務顧問（1902～1909）→文部省清国  
視察団団長→ドイツ留学→小樽高商校長

②小樽高商初代校長（1911～1920）

◎実践主義・科学主義（商品実験、商業実践、石鹼工場など）

◎若い優秀な教師を招聘（→名高商へ）、人格主義教育（教養科目重視、経済人の品格）

→試行錯誤の成果を名高商で実践

③倫理学と商業教育

…プラグマティズム哲学と国際経済競争時代の商業学との適合

④名高商創立委員長

…文部大臣に名古屋への設置を進言、創立委員長就任

4 学生たちと学園生活

①名高商生

◎入学者の概要

◎卒業生の進路…民間企業の社員（「サラリーマン」）→戦後多くの企業経営者を輩出

②嚶鳴寮

◎1年間の入寮義務（「寄宿寮は本校の教育と相俟って生徒の教養を完うする所とす」）

◎寮生による「自治」、繁華街への「宣伝」、ストーム、対寮マッチ

◎新制名古屋大学の学生寮へ

③「剣ヶ丘」の変貌

◎「剣ヶ丘」・「剣陵」・「剣陵学園」（←創立当時の田園風景、熱田神宮の「草薙の剣」）

◎名古屋市街地の爆発的拡大（「大名古屋」「中京」）→市街地の中の名高商へ

④課外活動

◎運動部の活躍（野球、水泳など）とスポーツ振興

ex.清川正二（1932ロス五輪金メダル）

◎学友会誌『剣陵』と名高商文化

ex.赤松要（初代文芸部長、若菜会、名古屋ヘーゲル研究会）

⑤同窓会其湛会（1924～）

◎機関誌『其湛』（現『キタン新聞』）、其湛倶楽部、大学昇格運動

◎戦後…其湛会と経済学部同窓会を一本化→社団法人キタン会

5 戦時下の名高商

①ファシズムの進展と「特別授業」

②学生の戦争・植民地経営への動員→学業・講義時間、修業年限の短縮

③名古屋工業経営専門学校への転換（1944）

→画一化、戦争のための工業経営、技能の短期習得、「皇国民」としての道徳

④戦時体制の窮迫と学校機能の停止

6 名経専から名古屋大学経済学部へ

①名古屋経済専門学校への改組（1946.3、経済科と経営科）

→入学志願者の殺到、混乱の中の講義

②「名古屋経営大学」昇格運動

◎学生大会における決議と文部省への陳情（1945）→失敗

◎其湛会、学校の昇格運動開始（1946～）

→昇格期成同盟の結成（1947）←→名（帝）大の総合大学構想→学校側の方針転換

→名大経済学部への合流路線へ

③名大文系学部設置問題と名高商

…三学部案（文・経・法）、二学部案（文・法経）、一学部案（←一学部なら合流拒否）

→文、法経学部の設置（1948.9）→名高商の新制名古屋大学（1949.5.31～）への包括

→経済学部と法学部の分離（1950.4）→名経専の廃止（1951.3）

④経済学部の東山移転（1959）

→元名高商キャンパス（名大桜山キャンパス）を名古屋市に譲渡（建築交換方式）

→名市大川澄キャンパス